

一般社団法人栃木県バスケットボール協会

平成 28 年度 第 5 回理事会 議事録

日時：平成 29 年 2 月 21 日（火） 18：30～

会場：文星芸術大学附属高校研修室

出席：〔理事〕 21 名 阿部泰紀、上野秀夫、小曾戸和彦、片桐晃、遠藤嘉津敏、高橋哲夫、鈴木克美
福田悦男、直井秀之、新村雅司、塚原弘江、福田憲司、中村剛久、石渡光平
北条和寿、小林史雄、矢野まなみ、佐々木清美、古谷常夫、横澤隆一、山田将樹

欠席：〔理事〕 6 名 杉森豪、佐藤智信、日向野信行、渡辺諭、前原延之、別井明彦

〔監事〕 2 名 井上尉央、荻美紀

1 あいさつ

阿部会長：忙しい中お集まりいただき感謝する。今日は、来年度の事業計画等の審議をお願いしたい。

2 報告事項

- (1) クラブ連：○関東クラブ選手権の結果は、男・女共に一回戦で敗退した。
- (2) 中体連：○男子は小山中、女子は陽南中が優勝した。
○今回から決勝トーナメントから県協会主催とした。
- (3) 高体連：○新人戦は、男子は宇工、女子は白鷗足利が優勝した。
○関東新人へは、男子が宇工・文星、女子が白鷗足利・作新が出場したが一回戦で敗退した。
- (4) ミニ連：○関東ミニバスケット大会が 1 月 7 日（土）～9 日（月）に開催され、男子は宮の原がブロック 1 位リーグの 2 位、であった。
○第 13 回ミニバスフェスティバルは、男子：宇河オールスターズ、女子：宮の原が優勝した。
○全国ミニバスケット県予選会では、男女ともに宮の原が優勝した。
- (5) 財務関係報告：
 - 今年度の補正予算案、来年度の予算を作成している。次回理事会には原案として提出する。
 - 時間がかかったが、通帳の住所変更を行った。
 - 2 か月ごとに決算を出してもらい、順調に決算が出てきている。この次の決算は 3 月末になるが入出予定がなければ決算・通帳・カードを財務まで戻してほしい。
 - 2018 年のことについて、登録料一元化の実施に伴い県協会に入ってくる金額が 2 / 3 に減る見込みであり、財務状況は場合によっては大幅な赤字が出る場合がある。
 - 日バ協のひも付き補助 1200 万円があるが、運営費の面で不安がある。5 月に実務担当者説明会があり、その後説明する。
 - 8 月末までに 2018 の事業計画案、予算案を提出してもらい、内容を検討して 10 月末に日バ協に提出する予定である。
 - 新年会の決算は、会費参加者 113 名：79.1 万円、祝金合計：89 万円の収入で、支出 6 万円の黒字となったが、レプリカ大：12 万円、カレンダー代：11.25 万円の協会支出がある。

- (6) 競技部：平 29 年度の行事予定を見て、追加・訂正等があったら競技部まで連絡願う。
- (7) 強化部：○前回理事会の課題であった、選考委員会のメンバーと茨城国体に向けた U-16 スタッフのメンバーについて了承願う。
- (8) ブレックス：○レギュラーシーズン順位東地区 1 位である。
○網野アンバサダーが U-24 ユニバ日本代表のサポートコーチになった。
○ブレックスカップ記念ウェアの協会還付金は、57,360 円となった。
○特別選手制度により 2 名の新人が入団した。
○セレモニー・エキシビジョンゲーム関連について
- (9) その他の報告：
○全専務理事連絡会の報告については、メールにて報告済み。
○関東協会合同会議関係
●専務理事会議：関東総合が平 29 より廃止になり、天皇杯・皇后杯第 2 次ラウンドがスタートする。今後、北海道・東北・関東のローテーションで開催され、栃木は平 35 年の開催となる。
●クラブ連、家庭婦人連盟の関東大会は平 29 年度まで実施し、平 30 年度からは社会人連盟のくくりで実施されることになる。
●関東協会合同会議：平 29 年の大会の要項審査が行われ承認された。栃木は、高校関東新人大会を開催する。

3 定足数について

- 定款第 47 条により、理事総数 27 名うち出席理事 21 名、過半数以上の出席により定足数を満たし本理事会は成立。

4 議事録署名人の選出について

阿部会長：ミニ連の 小林史雄 氏 と 小山市協会の 古谷常夫 氏 にお願ひする。

5 審議事項（議長：阿部会長）

- (1) 「栃木県社会人連盟設立部会」委員（案）の承認について
○関係連盟から推薦のあった者 7 名と協会執行部から 3 名の計 10 名が承認される。
- (2) 「3×3 組織委員会」委員（案）の承認について
○関係連盟より推薦された 11 名が承認される。
- (3) クラブ連関係大会等の名称変更（案）について
●来年度の「社会人連盟」設立を見据えて、年 2 回のリーグ戦と 2 回のトーナメント大会に変更したい。
●今までの県下一般バスケット選手権大会の選手権はなくなり、県下一般バスケット大会となる。
○県下一般バスケット選手権大会は歴史のある大会なので、名称を残し大会方式等を再度検討して、次回の理事会で再度審議することとする。
- (4) 平成 29 年度事業計画（案）について
●平 28 年度の事業計画をベースにして作成している。事業の組み換え・加除訂正等あればお願ひしたい。
●3 月理事会には確定版を提出して、臨時代議員会に諮りたい。

○確定版ではないが、現時点で承認する。

(5) 平成 28 年度臨時代議員会の開催（案）について

●定款により臨時代議員会を開催して、次年度の事業計画と予算の承認を得て平 29 年度をスタートさせることになる。

○3 月 26 日（日）午前 10：00～ 境域会館大会議室で開催することが承認される。

(6) 賛助会員の募集（案）について

●平 29 年度 4 月から賛助会員の募集を開始したいので、承認願う。

○規定等再度検討し、次回への継続審議事項とする。

(7) 事務局職員の採用について

●事務局の仕事が雑多であり、財務関係の経理もできる人材を求めたい。

○事務局アルバイト職員を雇用することにする。また、採用については、会長の専決事項とする。

(8) その他

●財務：来年度の予算編成上、また、一般社団法人として、常勤専務理事の報酬を月額 25 万円の月給制としたい。

○次年度より、常勤専務理事の報酬について、月額 25 万円＋交通費を支給することとする。

6 その他

(1) JAB 公認 B 級コーチ養成講習会受講者の推薦について

○受講者の推薦があれば条件をよく検討して、事務局まで推薦願いたい。

(2) 日中・日韓スポーツ交流の実施について

○県体協より事業紹介があった。過去に実施した事業であるが、今後、ジュニア育成事業との兼ね合いから強化部で検討願いたい。

7 あいさつ

上野副会長：長時間にわたり慎重審議ありがとうございました。